

羽下下建第1299号  
令和03年01月27日

国土交通大臣 殿

羽曳野市長

社会資本総合整備計画の変更について

令和02年08月05日 付け 羽下下建第555号 で提出した、社会資本総合  
整備計画について、別添のとおり変更するので提出する。

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和03年01月27日

計画の名称	羽曳野市流域関連公共下水道事業計画（その2）（防災・安全）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	羽曳野市												
計画の目標	公共下水道施設の老朽化に伴い、事故発生や機能不全を未然に防止するため、限られた財源の中で、ストックマネジメントを踏まえた計画的な長寿命化対策を推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,675	A	2,675	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	羽曳野市の老朽化している污水管渠をストックマネジメント計画に基き改築し、改築率100%を目指す。 ストックマネジメント計画 改築延長 改築施工延長（m）／改築計画延長7,816（m）	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	羽曳野市	直接	羽曳野市	管渠（ 污水）	改築	下水道ストックマネジメ ント事業	調査計画策定他、改築工事 L=7.8km、実施設計	羽曳野市	■	■	■	■	■	2,189		策定済
	下水道ストックマネジメント計画、種別1は他にポンプ場も含む。																		
	A07-002	下水道	一般	羽曳野市	直接	羽曳野市	管渠（ 雨水）	新設	高鷺排水区雨水管渠	雨水管 φ1350 L=0.22km	羽曳野市	■	■				327		—
	A07-003	下水道	一般	羽曳野市	直接	羽曳野市	ポンプ 場	改築	ポンプ場耐震事業	耐震診断、耐震補強	羽曳野市	■	■	■	■	■	143		—
	A07-004	下水道	一般	羽曳野市	直接	羽曳野市	管渠（ 雨水）	新設	浸水シミュレーション	事業面積 191.28ha	羽曳野市		■				16		—
											小計						2,675		
											合計						2,675		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04		
配分額 (a)	78	115	49		
計画別流用増 減額 (b)	0	17	22		
交付額 (c=a+b)	78	132	27		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	9		
支払済額 (e)	78	123	36		
翌年度繰越額 (f)	0	9	0		
うち未契約繰越額(g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

## 事前評価チェックシート

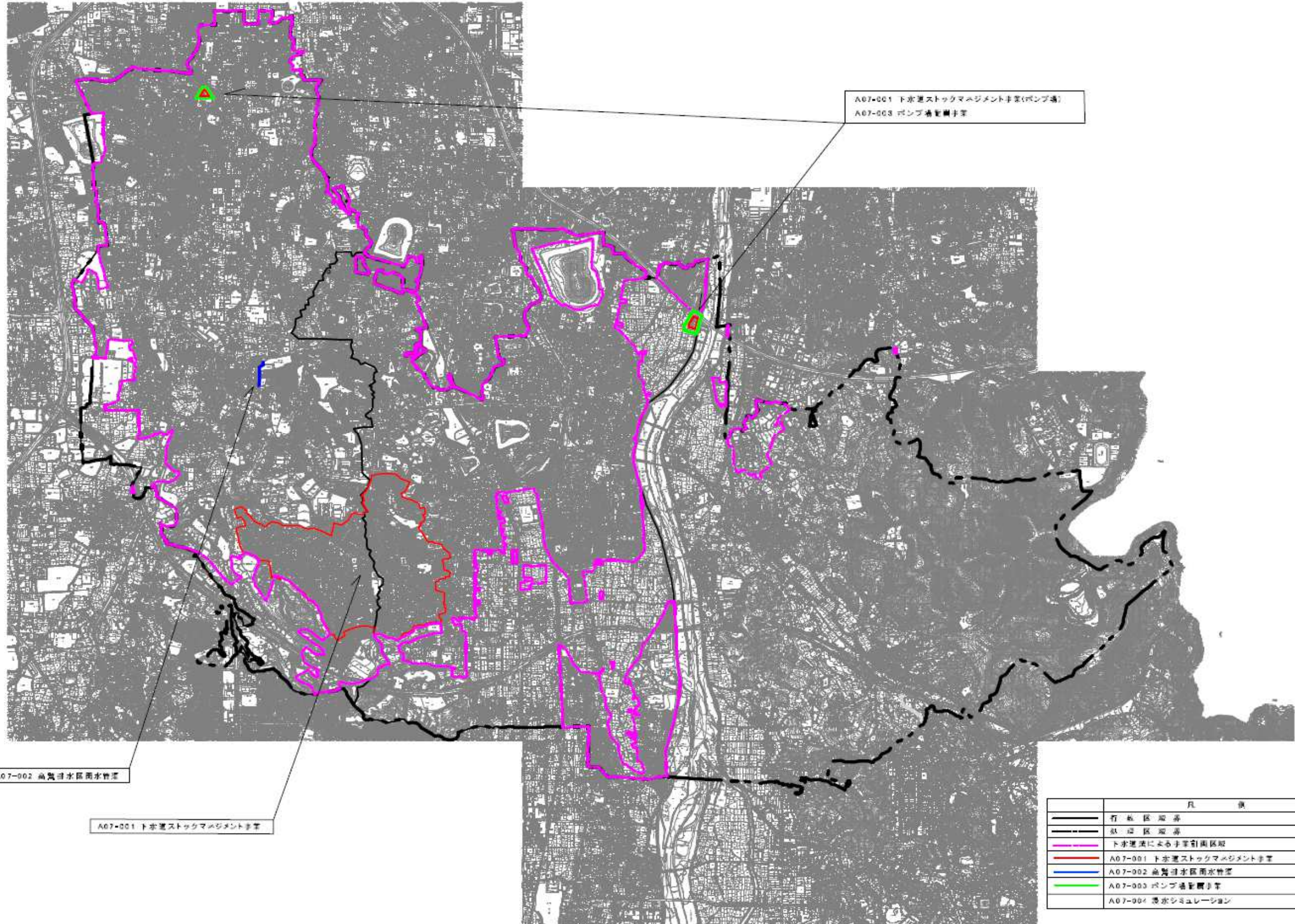
計画の名称： 羽曳野市流域関連公共下水道事業計画（その2）（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
2) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
5) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性	
1) 継続的な整備の展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性	
2) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

計画の名称 羽曳野市流域関連公共下水道事業計画(防災・安全)(その2)

計画の期間 令和2年度～令和6年度(5年間)

交付対象 羽曳野市



A07-001 下水道ストックマネジメント事業(ポンプ場)  
A07-003 ポンプ場整備事業

A07-002 高麗津水区域雨水管渠

A07-001 下水道ストックマネジメント事業

凡 例	
——	行政区域界
——	地区区域界
——	下水道法による事業計画区域
——	A07-001 下水道ストックマネジメント事業
——	A07-002 高麗津水区域雨水管渠
——	A07-003 ポンプ場整備事業
——	A07-004 浸水シミュレーション